

アカデミック英語 No.4

英語で反論・譲歩する ― Although・However・Admittedly を使った論証技術

導入文

英語の論述で「自分の意見→理由→例」だけで終わると、採点者には「反対意見を考慮していない浅い論証」と読まれる。大学アカデミックライティングの「譲歩→反論」の技術を習得することで、反対意見を取り込んだ上で自分の主張を強化する、説得力の高い英語論述が書けるようになる。

講義概要

英語論述における譲歩 (concession) と反論 (refutation) の技術を体系化する。Although・While・Admittedly・It is true that… However などの表現を使って「相手の立場を認めた上で自分の主張を強化する」構造を習得し、医学部英語面接・小論文・英作文の論証力を根本から引き上げる。

授業目標：英語論述を一方向の主張から、譲歩・反論を含む説得力の高い論証へ変える。

対象者：高2 (英語得意層) ～高3・浪人生。英語論述・面接がある難関国公立・医学部受験生で、論証の深みを高めたい生徒。アカデミック英語No.1～3の受講後が望ましい。

授業時間：授業90分+演習・質疑応答30分

到達目標：譲歩・反論の構造を使った英語論述が書ける/Although・Admittedly など譲歩表現を使いこなせる/反対意見を取り込んで主張を強化できる

授業構成 (90分) + 演習・質疑応答 (30分)

授業90分：1 導入：一方向の論述と譲歩・反論を含む論述を比較 2 概念導入：譲歩 (concession) と反論 (refutation) の役割 3 表現整理：Although・While・Admittedly・It is true that…However の使い方 4 構造練習：譲歩→反論の一段落を書く 5 応用：医学部典型テーマ (AIと医療・安楽死・臓器移植) に適用 6 演習：反論を含む英語論述を構造から完成させる 7 まとめ：「まず反対意見を書く」習慣を固定

追加30分：医学部典型テーマで譲歩・反論を含む英語論述 (150語程度) を書く演習と、表現と構造についてフィードバックと質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：譲歩・反論の構造図/主要譲歩表現一覧/論述骨子テンプレート (譲歩→反論型) /医学テーマへの適用例

課題：医学部典型テーマ1つを選び、譲歩・反論を含む英語論述 (150語以上) を書く。Although または Admittedly を必ず使うこと。

備考：高校・予備校の先生方/編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。